

■シャンプー

◇シャンプーイングの目的

- ・頭皮および毛髪の汚れを洗い落とし、清潔に、かつ美しくする。
- ・他の美容技術が容易に行えるような基礎をつくる。
- ・頭皮や毛髪の性状に応じて、それぞれに適した技術を行い、スカルプマッサージなども併用して、血行促進をはじめとする生理的なはたらきを助け、毛髪の健康な発育を促す。
- ・快感を与え、心身のリラクゼーション効果を高める。

◇目的別のシャンプーイング

- ・1回目のシャンプー・・・予洗い
- ・2回目のシャンプー・・・本洗い
- ・パーマントウェーブ及びヘアカラー施術前のシャンプー・・・1回目のシャンプーのみ行い、頭皮をこすらないよう柔らかいタッチで行うようにする。
- ・ヘアカラー後のシャンプー（アフターシャンプー）・・・薬液をていねいに取り除き、汚れも洗い流す。

◇シャンプー剤の種類と選び方

- 洗淨効果を主としたシャンプー剤・・・脂性の頭皮および毛髪に使用する。油成分の配合が少なく、洗淨力強
- コンディショニング効果のあるシャンプー剤・・・乾性の頭皮及びダメージした毛髪のコンディションを整える
目的で用いられる
※パーマやカラーによって水分が過剰に失われた乾燥毛に適しており、
洗淨力を多少抑えて、コンディションを整えるのが特徴。
- ヘアカラー用シャンプー剤・・・ヘアカラーの施術後、またはヘアカラーを繰り返している毛髪に用いる、
弱酸性のシャンプー剤。
- 抗ふけ効果のあるシャンプー剤・・・ジंकピリチオンなどが配合されているフケ取り用。
- 清涼感のあるシャンプー剤・・・メントールが配合されている、トニックシャンプー。
- スカルプシャンプー剤・・・頭皮のコンディションを整える

◇シャンプーイングの際の注意

- ・毎日シャンプーしても、適切な洗い方で適量のシャンプーを使用すれば、洗いすぎることはない。
- シャンプーに使用するお湯の温度は、ふつう38～40度が適温
- 毛髪は水分を吸収して膨潤しているので、毛髪を強くこすり合わせてシャンプーすると、毛小皮をいためる。
- パーマやカラーの前にシャンプーを行なう場合は、頭皮を刺激するような成分の含まれるシャンプー剤を用いるのは控える。頭皮をこするなどして刺激を与えないように気をつける。
- シャンプー剤は、一度に多量に使ってもさほどの効果はなく、かえって毛髪を傷める原因となることがあるので
使いすぎないように注意

■サイドシャンプーとバックシャンプー

- ・サイドシャンプー・・・お客様やシャンプーボウルの左側に立ち、シャンプーを行う。
フェイルマスクを使用する。
- ・バックシャンプー・・・お客様やシャンプーボウルの後ろに立ち、シャンプーを行う。

フェイスマスクを使用する必要がない。

サイドシャンプーよりも、お客様の首への負担が少ない。

バックシャンプーはサイドシャンプーに比べて、ネープが洗しやすい。
両手でしっかり洗うことができる。

反面、耳の後ろなどの洗い残しがちな部分もあるので注意

■リンス・コンディショナー・トリートメント

◇リンス・コンディショナー・トリートメントの違い

- ・リンス・・・毛髪に柔軟性と光沢を与える
- ・コンディショナー・・・高い保湿力、ツヤや潤いを与え、毛髪の表面に働きかける
- ・トリートメント・・・損傷した毛髪の損傷修復効果もある

◇シャンプー剤 と リンス・コンディショナー・トリートメント剤の成分と特徴

- ・シャンプー剤・・・アニオン界面活性剤 ⇒ 洗浄力があり、泡立ちのきめ細やかさ豊かさ、低刺激などの特徴
- ・リンス・コンディショナー・トリートメント剤・・・カチオン界面活性剤 ⇒ 毛髪の表面に被膜をつくる、静電気を防止

◇カチオンポリマー

カチオン界面活性剤と同じく、毛髪表面に被膜をつくる。

※カチオン界面活性剤よりも毛髪に長く残るため、より高い効果が得られる。

◇加水分解コラーゲン（PPT）

- ・成分としてアミノ酸があり、損傷によって流れ出たタンパク質を補う役割

※PPTトリートメントは高濃度配合のポリペプチドが毛髪に吸着し、補修作用にすぐれている。

修復作用にすぐれている。

（オイルトリートメントは加温して使用するものが多く、損傷部分に塗布して熱をあたえることにより、浸透が促進され油分が補われる。）

◇リンス剤の種類と選び方

- 酸性効果のあるリンス剤・・・パーマやカラー施術後で毛髪のpHがアルカリに傾いているような毛髪に使用

※酸性効果のあるリンス剤を用いて、毛髪を本来の弱酸性の状態に戻すことが必要

- 殺菌効果のあるリンス剤・・・ジンクピリチオンなどが配合されたリンス剤はフケ症の頭皮に適する

☆カチオン界面活性剤は被膜をつくるので、コールドウェーブの中間リンスには用いるべきでない。

◇毛髪が痛む原因

- ・脱脂力の強いシャンプー剤の連用
- ・パーマメントウェーブ用剤の連用
- ・強力なブリーチ剤の連用
- ・アルコール含有量の多いトニックまたはセットローションなどのスタイリング剤の使用
- ・ドライヤーで熱風を長時間毛髪に当てる
- ・ブラッシングおよびバックコーミングの乱用
- ・カッティング技術の未熟

◇ヘアトリートメント技術の一例

- ・ニーディング・・・手のひらの中で毛髪を包み込むようにしてもみこむ
- ・フィンガースルー・・・手でストランド（毛束）をにぎるようにして（もしくは、人差し指と中指でストランドをはさみ）、両手で交互にスルーする。
- ・スクランチ・・・ストランドを軽く持ち上げ、ゆっくり握るようになじませる。
(ウェーブヘアのカールを壊さないようになじませる)

■ブラッシング

◇ブラッシングの目的（ブラッシングはどの部分も生え際からつむじに、根元から毛先に向けて行う）

- ・毛髪の汚れを除去
- ・マッサージ効果によって頭皮の新陳代謝を促す
- ・刺激と快感を与えて美容効果を高める
- ・毛髪のもつれをほぐし、抜けるべき毛髪をすき取り、新しい毛髪の発生を促す

■スカルプトリートメント

スカルプトリートメントとは、頭皮（スカルプ）の手当て（トリートメント）という意味。

◇目的

頭皮および毛髪を健康に、かつ美しく保つために行われる。

※スカルプトリートメントは、多くはシャンプー技術およびヘアトリートメント技術と併用される。

◇スカルプトリートメントの分類

- ・物理的方法・・・頭皮に物理的な刺激を与える。（ブラシ、スカルプマッサージ、スチームタオル、スチーマーなど使用）
- ・科学的方法・・・頭皮および毛髪の生理機能を健康に保持する。（ヘアトニック、スカルプトリートメント剤などを使用）

◇スカルプトリートメントの種類

- ノーマルスカルプトリートメント・・・頭皮が正常な状態のとき、その状態を維持する為
- ドライスカルプトリートメント・・・皮脂が不足して、頭皮が乾燥している状態の時に進行
- オイリースカルプトリートメント・・・頭皮の皮脂の分泌が過多の場合に行う
- ダンドラフスカルプトリートメント・・・フケ除去のために行う

■スカルプマッサージ

頭皮に対してのマッサージ

- ・軽擦法・・・手掌、四指、母指などを用いて、軽くこする
- ・強擦法・・・皮膚を押さえながら強くこする。
- ・揉撚法・・・手掌で筋肉をにぎり四指と母指を用いてもみほぐす。
- ・振動法・・・指先だけでなく腕全体で振動を与える
- ・叩打法・・・タッピング ⇒ 指の掌面を用いて、頭をはじくように叩打
ハッキング ⇒ 両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打
カップリング ⇒ 手掌をくぼませて両手を軽く握り、手の甲で頭、首、肩をリズムカルに叩く
ビーディング ⇒ こぶしで叩打する

■ヘッドスパ

ヘッドスパとは従来のスカルプトリートメントより一歩踏み込んで、ツボマッサージや専用の用剤を使用し、育毛促進のための頭皮環境の改善やリラクゼーションに重きをおいた、メニューである。